

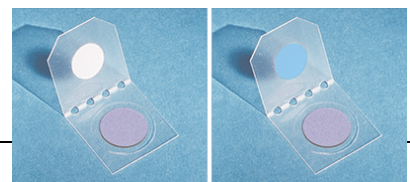
AT-10/AT-25 (アグリスクリーンチケット10/アグリスクリーンチケット25)

殺虫剤・残留農薬 定性検査キット

AT (Agri-screen® Ticket) は、水や農産物、食品などに含まれる有機リン系、カーバメート系の殺虫剤・農薬を簡単に定性検査するキットです。上述の薬剤が持つコリンエステラーゼの阻害作用の有無を、酵素基質反応法による発色で目視判定します。キット操作時間は約10分です。特別な機器が要らず、短時間で判定できるので、混入毒物の迅速定性検査キットとして、また野菜表面などの残留農薬・殺虫剤スクリーニング検査用として、幅広い機関で使用されています。



AT(アグリスクリーンチケット)シリーズ (製造:ネोजェン社)		NEOGEN CORPORATION		
品名 (製品コード /メーカーコード)	AT-10 (製品コード 5420T /メーカーコード 8920) 10テスト用			
仕様 キット内容	テストチケット10枚、アクチベーターアンプル10本、ビーカー(50 mL)1個、ガラス棒1本			
目的・用途	水、農産物、食品中の有機リン系、カーバメート系殺虫剤・残留農薬の定性検査			
原理	ペーパーディスク上の酵素基質反応法 (コリンエステラーゼの活性阻害を判定)			
検出限界例 水等理想的 条件下の数値	アルジカルブ 0.2 ppm	アスポン 5.0 ppm	パラチオン 2.0 ppm	
食品等での 検出限界は 10~100 ppm 前後	カルバリル 7.0	アジンホスメチル 0.3	ホレート 3.0	
	カルボフラン 0.1	クロルピリホス 0.7	PMP 1.0	
	メスロール 5.0	クロルピリホスメチル 1.0	ホスベル 0.8	
	メソミル 1.0	ダイアジノン 2.0		
	MIPC 2.0	EPN 0.2	DDVP 3.0	
	オキサミル 1.0	フェントロチオン MEP 1.5	メタミドホス 4.0	
	PHC 1.0	マラチオン 2.0	メピンホス 2.0	
	所要時間 保存条件	キット操作 約10分(前処理時間除く) 4~8		
	前処理	<ul style="list-style-type: none"> 水系試料はろ過後、pHを調整して検査に用いる。 野菜・果実の表面は適当な容器内で等量の水で洗うように溶出させ、試料液とする。 その他、ホモジナイズ後、バッファー抽出や有機溶媒等による濃縮等による前処理も可能。(アルコール系、フェノール系の有機溶媒は不可。但しメタノールであれば、10%以下で可。) 		
キット操作 手順	<p>水系試料の場合(環境水や野菜の表面洗浄水など)</p> <p>試料液をビーカーに入れる。</p> <p>アクチベーターアンプルをビーカー試料液中に入れ、ガラス棒で押し割り、2分間放置。</p> <p>チケットの酵素ディスク(白色)を、ビーカー試料液中に1分以上浸す。</p> <p>チケットを取り出し、基質ディスクのカバーを剥がし、両ディスクを重ね合せ、3分間放置。</p> <p>チケットを開き、白色酵素ディスクの変色を確認する。</p> <p>青変: 陰性(検出感度以下)</p>			
その他必要 な機器・試薬	特に無し			



本品は食品衛生・環境等に関わる自主検査用キットであり、臨床検査等診断に用いることはできません。必ず取扱説明書等をご覧頂き、使用・保管・廃棄等の方法には充分ご注意下さい。なお、価格・仕様など、内容を予告無く変更する場合があります。